

神奈川県産冬虫夏草菌目録

生出智哉

Toshiya OIZURU: A List of Vegetable Wasps and Plant Worms
(Clavicipitaceae) in Kanagawa Prefecture

冬虫夏草菌類は子のう菌類 Ascomycetes, バッカク菌目 Clavicipitales, バッカク (肉座) 菌科 Clavicipitaceae に所属する。中国では夏は植物になり、冬には虫と化して動きまわると考えられ冬虫夏草と名付けられた。

西洋でもこの仲間に、vegetable wasps and plant worms の名がつけられ、中国と似たような見解でつけられている。冬虫夏草菌は初夏から秋にかけての数カ月間に発生する傾向があり、形が小形のため発見されにくい。神奈川県産の冬虫夏草菌の観察記録は大谷(1970)による逗子市に発生したオオセミタケについてと生出(1982)による鎌倉市源氏山に多量発生したツクツクボウシタケの生態に関する報告がある。

冬虫夏草菌の標本類は神奈川県キノコの会と筆者が主に保管していた。今回の調査の結果を含めると県産の冬虫夏草菌類はサナギタケ、オオセミタケ、セミタケ、ツクツクボウシタケ、ハナサナギタケ、ハチタケ、オサムシタケ、カメムシタケ、クモタケの9種になる。

本調査は、1987年から1990年の4ケ年に採集した川崎市青少年科学館(KS)と相模原市博物館準備事務室(SM)、厚木市七沢自然教室(AN)の冬虫夏草菌標本に、筆者と当館が保管している神奈川県キノコの会(KM)の標本を加え神奈川県産冬虫夏草菌目録として集めた。

貴重な標本と観察記録を提供していただいた川崎市青少年科学館の若宮崇令、鬼塚陽子両学芸員と相模原市博物館準備事務室の守屋博文、太田泰弘両氏、厚木市教育委員会吉田文雄指導主事、並びに神奈川県キノコの会員諸氏の協力に対して深甚の謝意を表す。

子のう菌類
バッカク菌目

バッカク (肉座) 菌科

1. サナギタケ *Cordyceps militaris* Link

鱗翅目の土中で蛹化するガ類のサナギに発生するがまれに幼虫にも発生する。子実体はこん棒状あるいはスリコギ状の頭部と、これをささえる円柱状の柄の、2つの部分からなり、わずかに柔らかい肉質。地上部の高さ2~7cm。頭部はやや濃い朱黄色である。

日本中に広く分布し、県内でも比較的に発生例が多い。

横浜市緑区三保市民の森: 石石 悟; 1978. 10. 15, 2 個体 (KM). 山崎弘行; 1979. 10. 14, 1 個体 (KM). 生出智哉; 1981. 10. 25, 1 個体 (KM)
川崎市多摩区榊形生田緑地: 若宮崇令, 1988. 9. 30, 1 個体 (KS). 1988. 10. 21, 1 個体 (KS). 吉田多美枝, 1989. 10. 13, 1 個体 (KS)

相模原市大野台: 守屋博文, 1989. 10. 31, 1 個体 (SM)
厚木市順礼峠: 平塚市博物館収納標本(1989年採集)
足柄上郡山北町弁頭沢の頭: 城川四郎, 1977. 7. 24, 1 個体 (KM)

秦野市渋沢神社: 城川四郎, 1977. 9. 23, 1 個体 (KM)
愛甲郡清川村札掛: 青井常子, 1981. 9. 4, 1 個体 (KM)
愛甲郡清川村物見峠: 吉田文雄, 1985. 7. 10, 1 個体 (AN)
愛甲郡清川村緑小学校: 吉田文雄, 1985. 7. 10, 1 個体 (AN)

2. オオセミタケ *Cordyceps heteropoda* Kobayashi

地中にあるエゾゼミ、コエゾゼミ、アブラゼミの幼虫の頭部から発生する。子実体は楕円形または多少歪んだ円形の頭部と、細い円柱状の柄から成り、幼虫の頭部には分枝した根をもつ。地上部の高さは4~7cmである。日本とアフリカのコンゴ地方に分布が知られ、県内での発生は珍しい。

逗子市沼間: 小沢友治, 1968. 3. 1, 1 個体(横須賀市自

然博物館)

逗子市神武寺山：若宮崇令，1988. 6. 22, 1 個体(KS)

3. セミタケ *Cordyceps sobolifera* B. et Br.

地中にあるニイニゼミの幼虫の頭部から発生する。子実体は頭部と、柄の2つの部分からなり、単一のこん棒型でまれに分岐する個体もある。地上部の高さ2~8cmである。

日本、南北アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、セイロン、マダガスカルに分布が知られているが、県内での発生は少ない。

足柄上郡中井町^{はしがた}半形雑木林：生沼文啓，1990. 7. 29, 1 個体

4. ハチタケ *Cordyceps sphecocephala* (Kl.) Sacc.

膜翅目のハチの頭部から発生する。子実体は長楕円形の頭部とこれをささえる細長い柄からなる。頭部はクリーム色か、淡黄色で地上部の高さは3~9cmである。県内の発生は珍しい。

厚木市七沢温泉：吉田文雄，1981. 2. 28, 1 個体(AN)

5. オサムシタケ *Tilachlidiopsis nigra* Yakusiji et Kumazawa

鞘翅目、オサムシ科昆虫の幼虫と成虫の胸部、口器、腹部、尾部から発生する。子実体は1~12個、弾力のある黒色針がね状の手柄に白色で虫ピン状の頭部をつける。地上部の高さは3~15cmである。

オサムシタケは県内では広範囲に発見されている冬虫夏草菌類である。

横浜市緑区三保市民の森：橋本 倫，1978. 8. 6, 4 個体；1978. 10. 15, 1 個体(KM)。真部ヤイ，1985. 8. 23, 1 個体(KM)

川崎市多摩区榊形生田緑地：若宮崇令，1988. 6. 10, 1 個体(KS)。若宮崇令，1988. 7. 8, 1 個体(KS)。鬼塚陽子，1989. 9. 1, 1 個体(KS)。吉田多美枝，1989. 9. 3, 1 個体(KS)

秦野市落合国立療養所構内の雑木林：柳川定春，1981. 7. 28, 1 個体

秦野市曾屋（弘法山北西斜面）：西村正賢，1987. 11. 14, 1 個体

津久井郡城山町川尻：西村正賢，1988. 12. 11, 1 個体
相模原市大野台：守屋博文，1989. 6. 28, 5 個体(SM)。生出智哉，1989. 6. 28, 2 個体

相模原市西大沼：太田泰弘，1989. 7. 4, 2 個体(SM)。守屋博文，1989. 7. 4, 7 個体(SM)。守屋博文，1989. 8. 4, 2 個体(SM)

相模原市下溝：守屋博文，1989. 7. 19, 1 個体(SM)

厚木市飯山観音：吉田文雄，1990. 6. 20, 1 個体(AN)

愛甲郡清川村緑小学校：吉田文雄，1985. 7. 15, (AN)

6. カメムシタケ(ミミカキタケ) *Cordyceps nutans* Pat.

カメムシ科成虫の胸(肩)部、口器、腹(尾)部から発生する。子実体は楕円形、または長楕円形でこれをささえる細い黒色線形の柄からなる。頭部は美しい橙紅色か黄橙色である。地上部の高さは3~15cmである。

オサムシタケほど発生は知られていないが、日本をはじめ熱帯各地に分布する。

厚木市飯山観音：生出智哉，1985. 9. 3, 1 個体

7. ハナサナギタケ *Isaria japonica* Yasuda

鱗翅目、ガ類の蛹に発生する。子実体は樹枝状で1~20個に分岐する。ふくらみのある頭部とこれをささえる円柱状の柄の2つの部分からなる。地上部の長さは約1cmである。

県内ではサナギタケに比べて発生例が少ない。

横浜市港北区日吉町：生出智哉，1990. 8. 24, 1 個体

川崎市多摩区榊形生田緑地：若宮崇令，1988. 9. 2, 1 個体(KS)。若宮崇令，1988. 10. 28, 1 個体(KS)。吉田多美枝，1989. 9. 1, 1 個体(KS)。鬼塚陽子，1989. 10. 13, 1 個体(KS)。吉田多美枝，1990. 6. 16, 1 個体(KS)。鬼塚陽子，1989. 12. 1, 1 個体(KS)

8. ツクツクボウシタケ *Isaria Sinclairii* Lloyd

地中にいるツクツクボウシ、ニイニゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミの幼虫の頭部、または口器から発生する。子実体は単生または枝分かかれをして、樹枝状あるいはホウキ状の頭部と、これをささえる不規則な柄の2つの部分からなる。地上部の高さ1~4cm。

1980年8月から9月までの間に鎌倉市源氏山と十二所で計2,426個体も発生したのは珍しい記録であった。

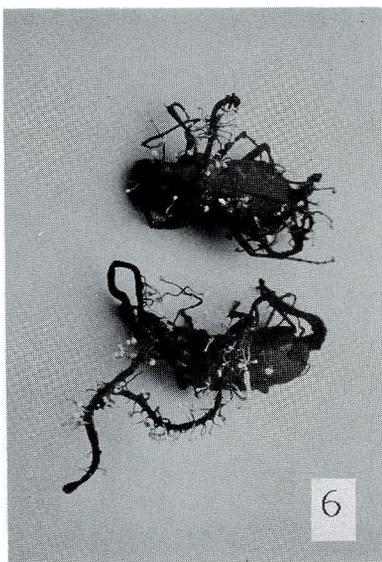
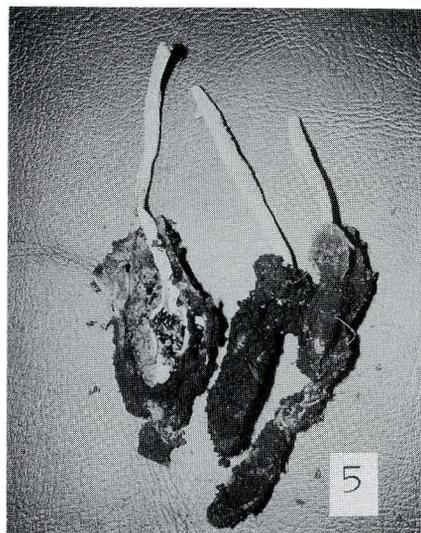
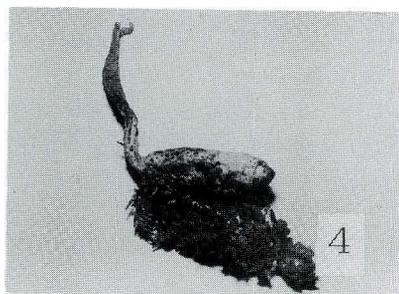
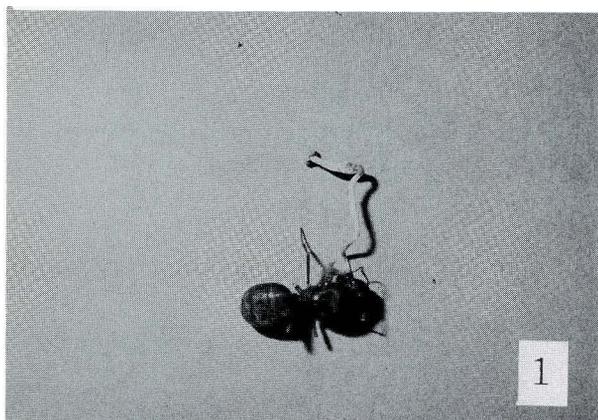
日本中に分布するが発生例は少ない。

横浜市中区本牧三溪園：生出智哉，1981. 8. 29, 28 個体
川崎市多摩区榊形生田緑地：鬼塚陽子，1990. 7. 29, 1 個体(KS)

鎌倉市源氏山：佐藤芳男，1980. 8. 25, 438 個体。児玉規子，1980. 8. 28, 52 個体。生出智哉，1980. 9. 18, 32 個体(KM)。成田伝蔵，1983. 9. 1, 58 個体

鎌倉市十二所：生出智哉，1980. 9. 22, 28 個体

平塚市高麗山：浜口哲一，1989. 8. 19, 1 個体(平塚市



1. ハチタケ（厚木市七沢温泉） 2. ツクツクボウシタケ（横浜市中区本牧） 3. ツクツクボウシタケ（鎌倉市源氏山：佐藤芳男氏による） 4. サナギタケ（横浜市長区三保市民の森） 5. クモタケ（横浜市中区矢口台） 6. オサムシタケ（相模原市大野台）

博物館)

厚木市七沢足ヶ窪：吉田文雄，1990. 10. 12, 1 個体(A
N)

9. クモタケ *Isaria atypicola* Yasuda

真生蜘蛛目のジグモ類，トタテグモ類に寄生し，袋状の巣の中から発生するようにみられる。子実体はわずかにふくらみのある円筒形，またはこん棒状の頭部と，これをささえる円柱状の柄と2つの部分からなり，地上部の高さ2.5～5.5cmで，頭部は淡紫色を帯びる。

日本中に分布するが発生例は少ない。

横浜市中区矢口台：出川洋介，1978. 6. 4, 30個体。生
出智哉，1978. 7. 8, 12個体

川崎市多摩区榊形生田緑地：若宮崇令，1988. 7. 8, 1個

体。小島由起子，1989. 7. 21, 1個体(KS)

文 献

大谷 茂，1970. 神奈川県植物分布資料(1). 横須賀市博物館雑報(15)：25-26.

清水大典，1979. 冬虫夏草. ニュー・サイエンス社，東京.

生出智哉，1982. 鎌倉市で採集したツクツクボウシタケ. 神奈川自然誌資料，(3)：1-4.

小林義雄・清水大典，1983. 冬虫夏草菌図譜. 保育社，大阪.

神奈川キノコの会，1990. 平塚市博物館収納標本目録. くさびら，(12)：37-38.

(神奈川県立博物館)